

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	若狭森林計画区(わかさ) （福井県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署												
事業の概要・目的	<p>若狭森林計画区は、福井県の南西部に位置し、国有林野7,421haを対象としている。</p> <p>機能類型別には、水土保全林7,039ha(95%)、森林と人との共生林339ha(5%)、資源の循環利用林43ha(0%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源かん養の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応えていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>237(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	(ha)		保育面積	237(ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	(ha)													
	保育面積	237(ha)													
路網整備	開設延長	(km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	70,060千円													
	総便益(B)	水源かん養便益	271,743千円												
		山地保全便益	100,231千円												
		環境保全便益	18,311千円												
		木材生産便益	24,940千円												
		森林整備経費縮減等便益	千円												
		計	415,225千円												
	分析結果(B/C)	5.93													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	尾鷲熊野森林計画区（おわせのまの） （三重県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署												
事業の概要・目的	<p>尾鷲熊野森林計画区は、三重県の南部に位置し、10,441haの国有林野を対象としている。</p> <p>機能類型別には水土保全林10,032ha(96%)、森林と人との共生林248ha(2%)、資源の循環利用林161ha(2%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源かん養の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応えていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>24 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,024 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.7 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.8 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	24 (ha)		保育面積	1,024 (ha)	路網整備	開設延長	6.7 (km)		改良延長	0.8 (km)
森林整備	更新面積	24 (ha)													
	保育面積	1,024 (ha)													
路網整備	開設延長	6.7 (km)													
	改良延長	0.8 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	746,022千円													
	総便益（B）	水源かん養便益	2,009,715千円												
		山地保全便益	369,243千円												
	環境保全便益	70,834千円													
	木材生産便益	664,844千円													
	森林整備経費縮減等便益	740,005千円													
	計	3,854,641千円													
	分析結果（B/C）	5.17													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	湖南森林計画区(こなん) （滋賀県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署												
事業の概要・目的	<p>湖南森林計画区は、滋賀県の南部に位置し、国有林野6,920haを対象としている。</p> <p>機能類型別には水土保全林4,013ha(58%)、森林と人との共生林2,647ha(38%)、資源の循環利用林260ha(4%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源かん養の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応えていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>1 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>262 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.6 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	1 (ha)		保育面積	262 (ha)	路網整備	開設延長	4.6 (km)		改良延長	0.1 (km)
森林整備	更新面積	1 (ha)													
	保育面積	262 (ha)													
路網整備	開設延長	4.6 (km)													
	改良延長	0.1 (km)													
費用対効果分析	総費用(C)	133,332千円													
	総便益(B)	235,407千円													
		563,409千円													
	水源かん養便益	235,407千円													
	山地保全便益	99,875千円													
	環境保全便益	20,066千円													
	木材生産便益	163,646千円													
	森林整備経費縮減等便益	44,415千円													
	計	563,409千円													
	分析結果(B/C)	4.23													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	淀川上流森林計画区（よどがわじょうりゅう） （京都府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>淀川上流森林計画区は、京都府のほぼ中央に位置し、1,839haの国有林野を対象としている。</p> <p>機能類型別には水土保全林897ha(49%)、森林と人との共生林857ha(46%)、資源の循環利用林85ha(5%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源かん養の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応えていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>15 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>149 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	15 (ha)		保育面積	149 (ha)	路網整備	開設延長	3.5 (km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	15 (ha)													
	保育面積	149 (ha)													
路網整備	開設延長	3.5 (km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	70,457千円													
	総便益(B)	水源かん養便益	189,629千円												
		山地保全便益	69,003千円												
		環境保全便益	6,521千円												
		木材生産便益	111,980千円												
		森林整備経費縮減等便益	46,408千円												
		計	423,541千円												
	分析結果(B/C)	6.01													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	大和木津川森林計画区（やまときづがわ） （奈良県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>大和・木津川森林計画区は奈良県の北部に位置し、917haの国有林野を対象としている。</p> <p>機能類型別には水土保全林41ha(5%)、森林と人との共生林425ha(46%)、資源の循環利用林451ha(49%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源かん養の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応えていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>8 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>179 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	8 (ha)		保育面積	179 (ha)	路網整備	開設延長	1.0 (km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	8 (ha)													
	保育面積	179 (ha)													
路網整備	開設延長	1.0 (km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	72,325千円													
	総便益(B)	水源かん養便益	147,548千円												
		山地保全便益	60,800千円												
		環境保全便益	12,494千円												
		木材生産便益	54,848千円												
		森林整備経費縮減等便益	10,945千円												
		計	286,635千円												
	分析結果(B/C)	3.96													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	斐伊川森林計画区（ひいかわ） （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署												
事業の概要・目的	<p>斐伊川森林計画区は、島根県の東部に位置し、5,979haの国有林野を対象としている。</p> <p>機能類型別には水土保全林4,678ha(78%)、森林と人との共生林378ha(6%)、資源の循環利用林923ha(16%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源かん養の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応えていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>9 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>693 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	9 (ha)		保育面積	693 (ha)	路網整備	開設延長	4.3 (km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	9 (ha)													
	保育面積	693 (ha)													
路網整備	開設延長	4.3 (km)													
	改良延長	(km)													
費用対効果分析	総費用（C）	248,990千円													
	総便益（B）	水源かん養便益	808,807千円												
		山地保全便益	276,812千円												
		環境保全便益	57,460千円												
		木材生産便益	146,658千円												
		森林整備経費縮減等便益	35,305千円												
		計	1,325,042千円												
	分析結果（B/C）	5.32													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	吉井川森林計画区(よしいがわ) （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署												
事業の概要・目的	<p>吉井川森林計画区は、岡山県の東部に位置し、12,638haの国有林野を対象としている。</p> <p>機能類型別には水土保全林10,408ha(82%)、森林と人との共生林2,082ha(17%)、資源の循環利用林148ha(1%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源かん養の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応えていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>47(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,470(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>13.7(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.1(km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	47(ha)		保育面積	1,470(ha)	路網整備	開設延長	13.7(km)		改良延長	2.1(km)
森林整備	更新面積	47(ha)													
	保育面積	1,470(ha)													
路網整備	開設延長	13.7(km)													
	改良延長	2.1(km)													
費用対効果分析	総費用(C)	894,985千円													
	総便益(B)														
		水源かん養便益	1,137,974千円												
	山地保全便益	501,719千円													
	環境保全便益	94,640千円													
	木材生産便益	1,092,381千円													
	森林整備経費縮減等便益	165,678千円													
	計	2,992,392千円													
	分析結果(B/C)	3.34													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成20年度～平成24年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	萩森林計画区(はぎ) （山口県）		事業実施主体	近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>萩森林計画区は、山口県の北東部に位置し、2,407haの国有林野を対象としている。</p> <p>機能類型別には水土保全林2,267ha(94%)、森林と人との共生林106ha(4%)、資源の循環利用林34ha(2%)となっている。</p> <p>当計画区では、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源かん養の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森づくりなど多様化している地域からの要請に応えていく必要がある。</p> <p>本事業は、これらを踏まえた上で、上記区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>386(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>(km)</td> </tr> </table>				森林整備	更新面積	(ha)		保育面積	386(ha)	路網整備	開設延長	(km)		改良延長	(km)
森林整備	更新面積	(ha)														
	保育面積	386(ha)														
路網整備	開設延長	(km)														
	改良延長	(km)														
費用対効果分析	総費用(C)		105,809千円													
	総便益(B)	水源かん養便益	452,533千円													
		山地保全便益	170,166千円													
		環境保全便益	35,696千円													
		木材生産便益	100,753千円													
		森林整備経費縮減等便益	千円													
		計	759,148千円													
	分析結果(B/C)		7.17													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>															

